

所在地：目黒区東山 3 - 24 - 2 東急田園都市線 池尻大橋駅 徒歩 10 分

学校名： ひがしやま幼稚園		作成年月日： H.10.11.26	調査日： H.16.07/13.7/23
環境概況	植 物	・マコモの生育も盛んだが、周囲の浅瀬部分には昨年移植したセキショウやヒルムシロが確認できた。	
	動 物	・メダカが多く確認できた。 ・ヤゴの抜け殻も多く確認できた。	
	水 質	・透明度があり、良好である。	
	周 辺 環 境	・池周りは依然として裸地化しており、保護エリアを設定する方策が考えられる。 ・周囲の樹木の伸長が著しく、イチヨウなど一部の剪定が必要である。	
	土 壌	・砂の入り込みが多く、浅瀬の土は入れ替える必要がある。 ・水深は約 40cm 程度ある。	
活動状況	管 理 体 制	・職員が給水を行っている。	
	管 理 状 況	・毎年、マコモの抑制作業が実施されており、水面確保をするとともに、植物の単純化を抑制できている。 ・水際に菅刈小学校からもらったヒルムシロ、セリなどが定着し、今後の繁殖が期待される。	
	利 用 状 況	・定期的な観察は行われていないが、園児の興味は高く自由に観察している。	
今後の予定・計画		・今後も他のピオトープから随時水草の移植を行い、多様な環境づくりを進めていく予定である。	

作成後の主な活動経過

年月日	活動内容	参加形態
H. 10.11.26	池の設置	園児、教師
11 ~	日常的な観察	園児
13.07	マコモなど高茎の水草を一部除去し、水面の確保を行った。	教師
14.06	浅瀬の砂を除去して泥を補給し、セリ、セキショウなどの低茎水草を水際の浅瀬に移植した。	教師
15.05 06	コカナダモの除去作業を行った。 マコモの一部を除去した。 菅刈小学校より水辺の植物をもらい移植した。	教師 主事
16.	コカナダモの除去作業を行った。	

調査時（平成15年）

6月中旬

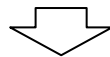


マコモの繁殖が著しく、水面の8割を覆う状態になっている。

7月中旬（水草移植後）



草地環境の多様性を確保するため、マコモの一部除去及びセリ、ヒルムシロなどの移植を行った。



調査時（平成16年）

6月中旬



マコモ、スイレンの繁殖が著しいが、毎年適宜抑制を行っており、水面の確保ができています。

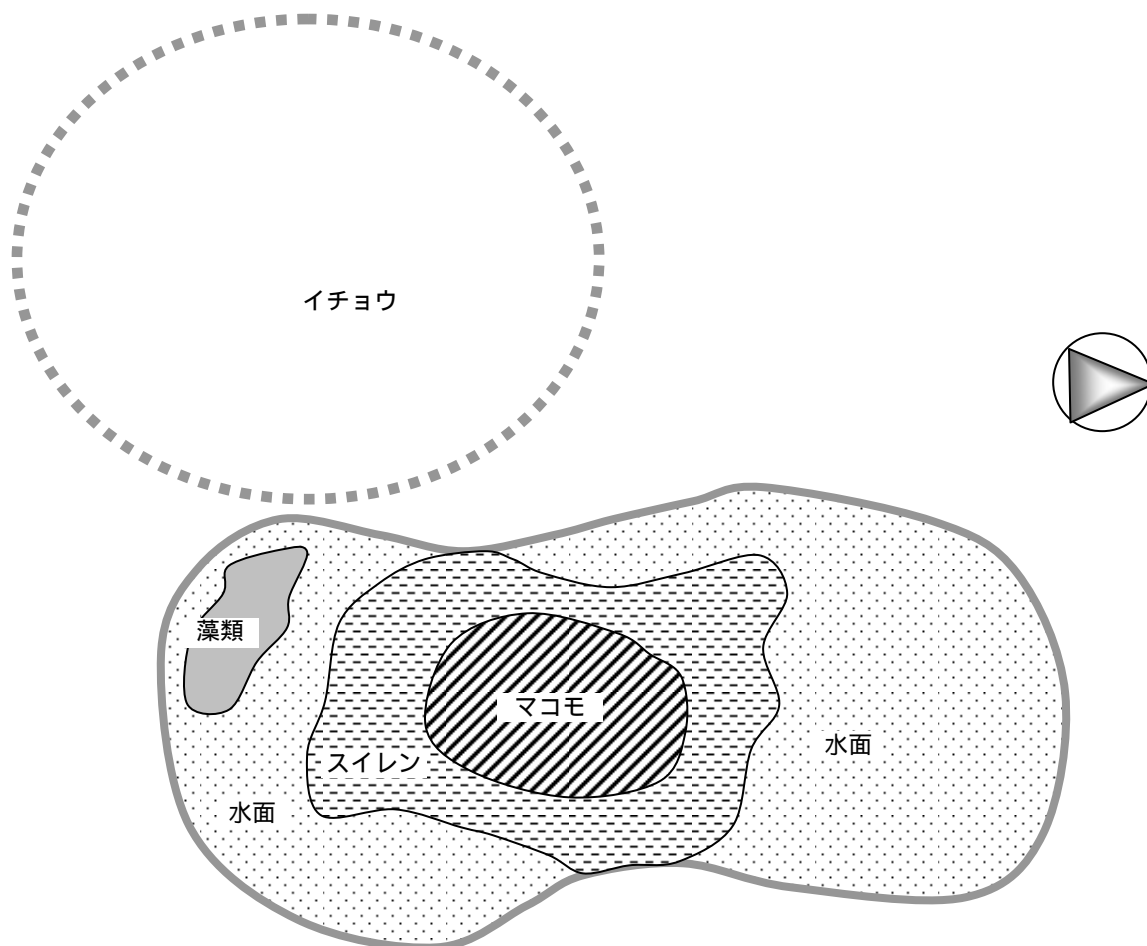
7月中旬（水草移植後）



昨年移植したヒルムシロ、セキショウが定着しており、多様性が増した。

ひがしやま幼稚園

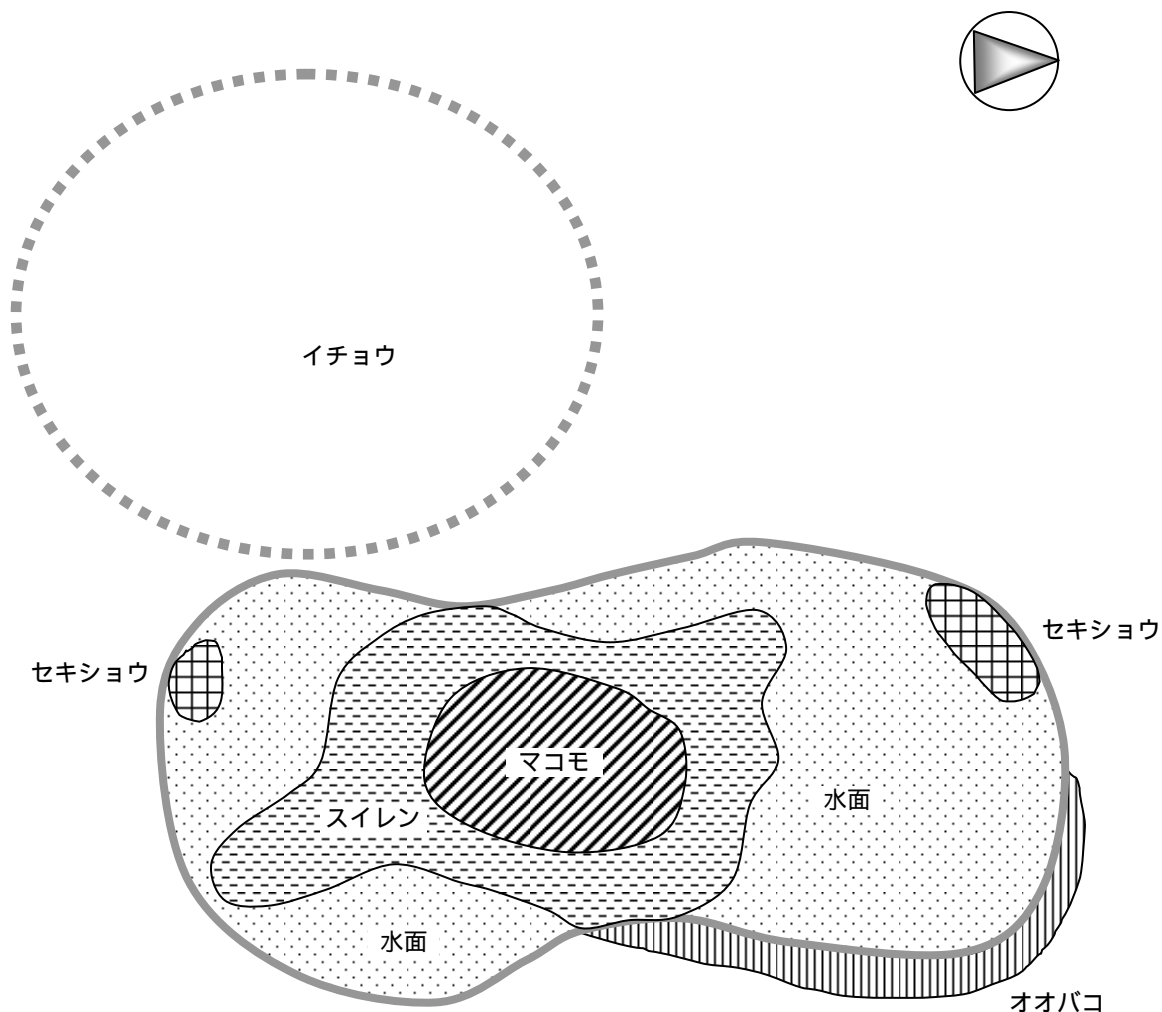
<平成13年度>



池周りの草本類が踏圧などにより失われているため、園庭の砂が池内に多く入り、水際の植物が殆ど生育していない。周囲の環境との連続性を確保するためには、池周囲の植物の確保と浅瀬の植物の回復が必要である。

マコモ、スイレンは池面積に対して生育の範囲が大きくなりすぎており、半分ほど除去し、水面を確保する必要がある。

<平成14年度>

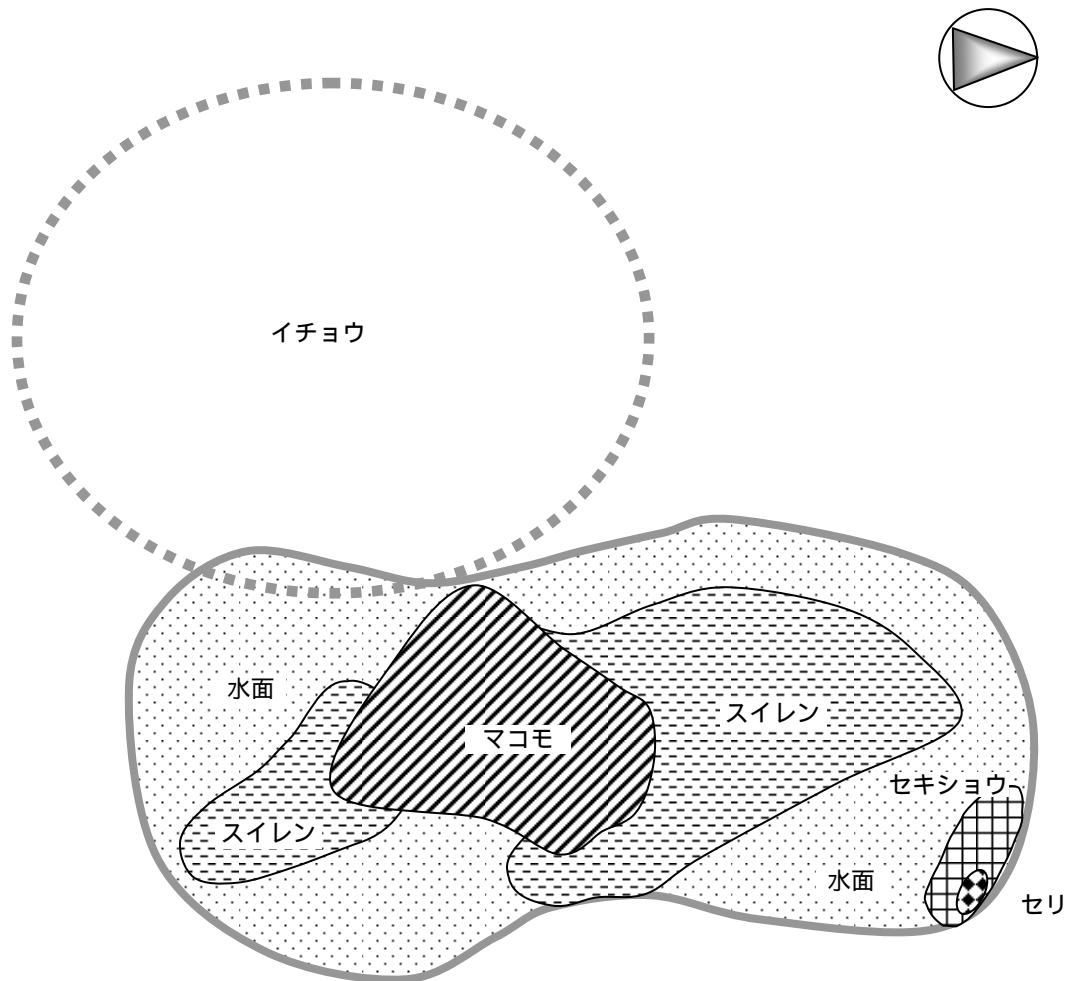


昨年と同様に、池周りの草本類が踏圧などにより失われているため、園庭の砂が池内に多く入り、水際の植物が殆ど生育していない。周囲の環境との連続性を確保するためには、立ち入りを制限する部分を設けて、池周囲の植物の確保と浅瀬の植物の回復が必要である。

昨年と同様に、マコモ、スイレンは池面積に対して生育の範囲が大きくなりすぎている。これらは半分ほど除去し、開けた水面を確保する必要がある。また、水中では藻類が密に繁茂しており、定期的に除去する必要がある。

ひがしやま幼稚園

<平成15年度>

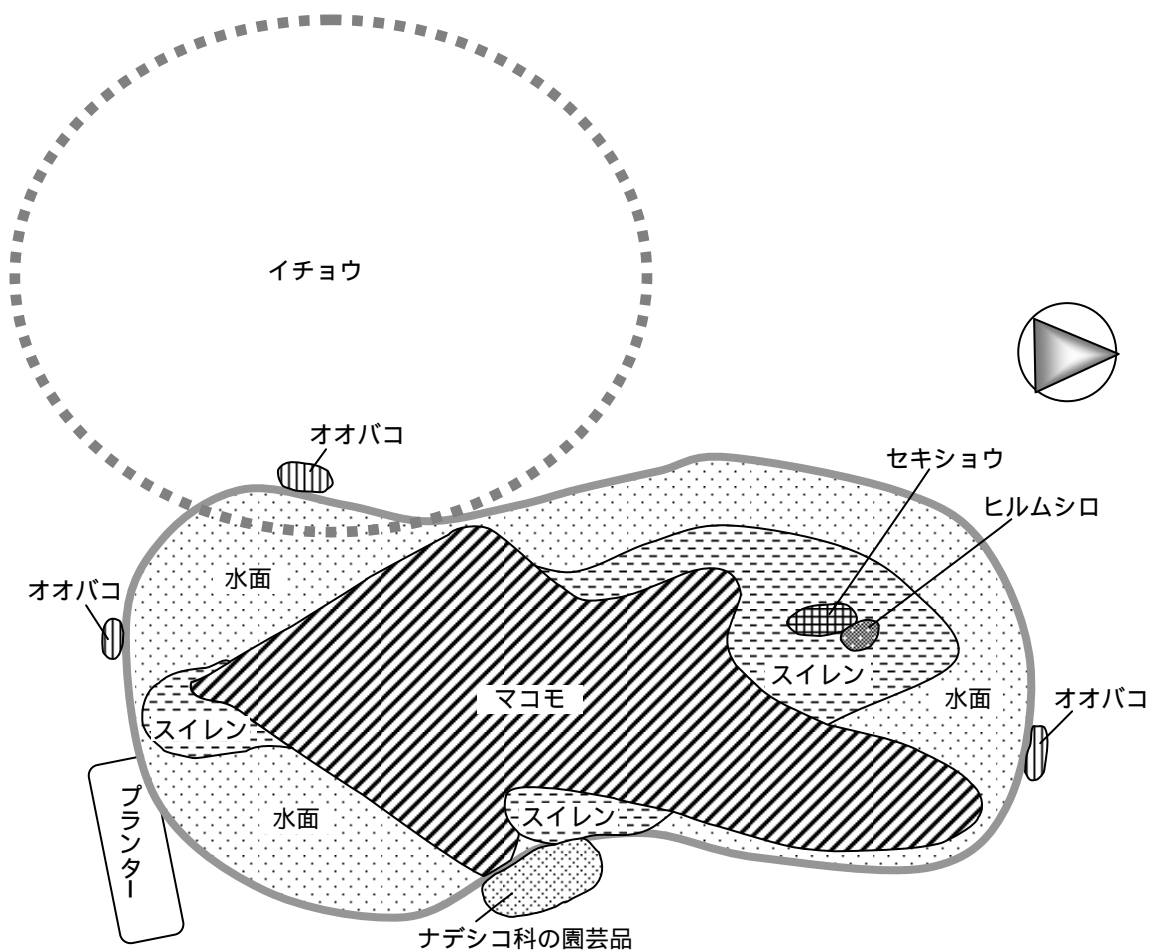


依然として池周りの草本類は観察時の踏圧などにより生育ができない状態になっている。そのため、園庭の砂が池内に多く入り、水際の植物が殆ど生育していない。水中の藻類は適宜除去する必要がある。

マコモは、生育範囲を広げているため半分ほど除去し、菅刈小学校からヒルムシロ、セリなど水辺の植物を移植し、植物環境の多様化を図った。

今後は、できるだけ池周辺に観察エリアと保護エリアを柵などにより設けて、陸地部分の環境づくりを目指すことが望まれる。

<平成16年度>



依然として池周りの草本類は観察時の踏圧などにより生育ができない状態になっている。オオバコやナデシコ科の園芸品などが、池の周囲にみられるが、池周囲にも植物が生育できるエリアを柵などで囲って確保する方法も考えられる。

マコモは、生育範囲を広げているため半分ほど除去し、昨年度、菅刈小学校から移植したヒルムシロ、セキショウなど水辺の植物も生育がみられ、植物環境の多様化を図ることができた。水質も透明度が高く良好な状態を保っている。